

NPO法人北海道歩くスキー協会

令和2年度前期・後期

令和2年7月19日～令和3年3月14日(日)



令和2年度北海道歩くスキー協会通常総会

1、日時：令和2年7月19日(日)10:30～11:50

2、場所：札幌市市民活動プラザ星園 2階 会議室(大)

3、参加人員：38名（委任状含む）

4、議題：

(1)令和元年度会務運営報告、資産報告

(2)令和元年度事業報告

(3)令和元年度決算報告・物品一覧表について

(4)令和元年度監査報告

(5)令和2年度会務運営報告(案)

(6)令和2年度事業報告(案)

・小樽海岸自然探勝路トレッキングの案内(案)について

(7)令和2年度予算(案)

(8)令和2年度理事、監事、名誉理事長、顧問

(9) その他

- ・令和元年度正会員在籍者名簿と一般会員在籍者名簿が及び令和2年度各在籍者名簿
- ・事務局からのお知らせ
- ・来年度の総会予定・・・令和3年6月20日(日)

5、距離認定表彰式

- ・希望者なし

6、懇親会について

- ・新型コロナの感染拡大によりありません。

* 執行部原案のとおり可決されました



**丸山会長の挨拶で始まりました
(コロナ禍の為7月に延期になりました)**



コロナ禍の為広々とした会場で実施(1テーブル1名)

小樽海岸自然探勝路トレッキング

- 1、日時：令和2年9月20日(日) 10:00～13:30
- 2、経路：オタモイ口駐車場～オタモイ唐門～出羽三山神社～赤岩山(371m)～赤岩山ベンチ～赤岩峠口～下赤岩山(279m)～祝津口～小樽水族館バス停 約6.5km
- 3、天候： 晴れ
- 4、参加人員： 17名(健脚組:6名、ゆっくり組:11名)
- 5、内容：
 - 久々の絶好の天気、マスクを着用して小樽駅集合後バスでオタモイ団地で下車。オタモイ口迄の約700m程のキツイ登り坂をクリアして到着。準備体操後出発、5分程で「唐門」が現れました。正倉院と同じ校倉造で、釘を1本も使わない工法です。小樽には大変珍しい中華風の建造物で、その前で 記念写真を撮りました。

●唐門からの遊歩道は少し笹が茂っている山道で**出羽三山神社**を通過
その先から海岸の横とは思えない深い林道を歩き、標高差200mでコース
一番の急登を進むと**赤岩山頂の鉄塔群**を横目にしばらく行くと、ベンチの
ある「**赤岩山展望台**」に到着しました。
綺麗な海と積丹半島の山々があり、ゆっくりと眺望を楽しみました。
この光景を見て70代の女性は「コロナで家に閉じこもりだったので
ストレス解消ができました」と笑顔で話しておりました。

●赤岩峠から下赤岩山の展望地までは稜線に沿っていて、海側はすべて
と言っていいほどの岩稜地帯になっており、道内屈指の**ロッククライミング**
エリアになっていて多くの方が訓練をしていました。**当協会顧問の元日本**
山岳会副会長は「クライマーが国内外の高峰を目指してこのエリアでロック
クライミングの訓練を重ねている」とおっしゃっていました。
又**テーブルリッジ**では、大きな岩に、小さなはしごがあり、少し度胸が必要
です。崖下に見える奇岩の数々。**海はエメラルドグリーン**でなかなか迫力
がありました。

●出発が10時でしたので3時間半のトレッキングでした。

最初の「オタモイ」から「赤岩山」は景色があまり変わらないので祝津からの出発だと後半しんどいかもかもしれません。

ゆっくり組の3人を除き全員完走致しました。

最後に恒例の「天然温泉湯ノ花」にて到着後はお楽しみの入浴で汗を流し疲れを癒しました。

入浴後はビール等を飲みながら親睦を深め小樽駅にてそれぞれ三々五々に帰宅しました。



小樽駅でミーティング・・・参加者17名

ニセコ積丹小樽海岸国定公園

Niseko Shakotan Otarukaigan Quasi-National Park

赤岩オタモイ線歩道

Akaiwa-Otamoi Nature Trail

小樽海岸自然探勝路

この歩道は、入り組んでいる地形と紺碧に輝く海が優れた景観をつくり出しています。また、海岸や森林には数多くの山野草が咲き、渡り鳥や海鳥なども多くみられ、四季を通じて自然とふれあうことができます。

- ゴミは持ち帰りましょう。
- 豊かな環境を守るため自然保護に努めましょう。
- 動植物の採取や野生動物への餌やりは止めましょう。
- 歩道の利用は自己責任が原則です。事前の情報収集に努め、自分の技術と体力に合わせ、安全を心がけましょう。



経路 : オタモイ口駐車場～オタモイ唐門～出羽三山神社～赤岩山(371m)
～赤岩山ベンチ～赤岩峠口～下赤岩山(279m)～祝津口～
小樽水族館バス停 約6.5km



唐門」の前で 記念写真を撮りました。正倉院と同じ校倉造で釘を1本も使わない工法です。小樽には大変珍しい中華風の建造物です。



オタモイ唐門

この唐門は、オタモイ海岸への入口として、昭和7年に建立されました。当時のオタモイ海岸には、龍宮閣、弁天閣などが建ち、道内屈指の観光地として賑わいを見せておりました。

その後、龍宮閣、弁天閣は消失しましたが、唐門だけは昭和53年に現在の位置に移設保存され、秘境オタモイの象徴として広く市民に親しまれております。



でわさんざん神社

明治期、山形県からの移住者が、山形県では一般的だった出羽三山神社を、この地で祀ったことに始まると言われています。社殿は赤く塗られ目立つ建物となっていました。ここで修行をされている方もいるので人と出会うことがあります。

下記右側を見ると石で作られた仏像が33体並んでいました





海岸の横とは思えない深い林道を歩きました





標高差200mでコース 一番の急登を進むと赤岩山頂の鉄塔群を横目にしばらく行くとベンチのある「赤岩山展望台」に到着しました。

(左上・下)健脚組



「赤岩山展望台」に到着しました。綺麗な海と積丹半島の山々があり、ゆっくりと眺望を楽しみました・・・皆さん笑顔でお話・・・休憩・・・



下赤岩でロッククライミング練習していました





崖下に見える奇岩の数々。海はエメラルドグリーン



祝津



テーブルリッジ大きな岩に、小さなはしごがあり登り、
少し度胸が必要です

滝野公園ノルディックウォーキング

1、日時:令和2年10月4日(日) 9:45~12:30

2、場所:滝野すすらん公園

3、経路:東ロゲート~すすらん丘展望台~わにロトンネル~森の交流館~
森見の塔~峠の庭~フラワーガーデン~東ロゲート
*ロングコース 7km、*ショートコース 5km

4、天候:曇り、気温17.6℃(10時)

5、参加人員:23名(ロング組:12名、ショート組:11名)

6、内容:

●初体験参加者が多いので講師には、NPO法人日本ノルディックウォーキング
学校公認インストラクター**澁谷洋子さん**と**西田香織さん**をお招きし「正しい
ポールの使い方、快適なスイスイ歩き方」のコツを教わりロング組とショート
組に分かれて出発致しました。

- 皆さん滝野すずらん公園コースは冬のイベントでしか熟知していませんでした。雪のないコースにはイメージが冬と違い色々**と再発見**を致しました。又会話を楽しみながら、教わったポールのバランスを保ち背筋を伸ばして歩きました。周りを見渡すと山々は少しずつ色付き初め木々には赤い実、**深紅の紅葉**、地面には**多くの落ち葉**等晩秋が近づきつつありました。
- 「**森の交流館**」に到着し**樹木や動物、昆虫**などに関する展示も行っており、またスタッフも常駐しており質問に応じてくれました。沢山の**オニグルミ**や**トチノミ**を乾燥しており「これはイベント用の教材」とのことでした。森へお越しの際は是非又お立ち寄りくださいとすすめられました。滝野の森のシンボルタワー「**森見の塔**」では20mの高さから札幌の近郊の山並み**札幌岳・余市岳・手稲山**等が一望できました。又眺望もよく滝野の森の紅葉具合を観察致しました。

●最後の「フラワーガーデン中心ゾーン」では残念ながらコスモス
(70万株40種類)は見頃を過ぎておりました。

60代の男性は「冬にしか来たことがない滝野公園は春・夏・秋にかけ四季折々の
の花が咲き乱れて、まるで花劇場です」と笑顔で話しておりました。

頂いた資料によると健康寿命を引き上げる事が重要で今一度歩く習慣を身に
着け、特に冬場は閉じこもりになり、皆で歩くスキー等をして、元気でより良い
楽しい高齢化社会を迎える事が出来ると思います。



一部 紅葉も見られました



ミーティングでインストラクター澁谷洋子さんと西田香織さんを紹介する運営長

渋谷インストラクター準備体操



集合記念写真23名





ホールの使い方指導する渋谷さん



マイペースで...

展望台案内版を見て景色を見る一行





少し疲れました：休憩



健脚組



自分のペースでゆっくり組



広場を横断する・・・



森の交流館



森見の塔から札幌近郊山々





ブルーサルビア(上)

みごとなコリウス(左下)

ダリア(右下)



令和2年度後期集会

1、日時：令和2年11月22日(日) 10:30~12:00

2、場所：札幌市民活動プラザ星園 2階会議室

3、参加人員：19名

4、集会内容：

- ① 理事長挨拶
- ② 令和2年度 後期事業計画について・各運営長が発表
- ③ その他
 - ・ 令和2年度 歩くスキー行事予定表について
 - ・ 正会員と一般会員の現状について
 - ・ 令和2年度 助成金・寄付金・広告収入について
 - ・ 令和2年度 後期事業の出決について

* 今年度各地の歩くスキー大会においては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い現在中止の大会が数多くありますとの報告がありました。

5、懇親会：コロナ禍の為中止

冬季行事カレンダー(令和2年11月～令和3年5月)

月日(曜)	事業名	会場	備考
R2.11.22(日)	後期集会	市民プラザ星園 終了	正会員
12.05(土)	環境保護講座(環境を守る為私達ができること)	市民プラザ星園 終了	石塚先生
12.27(日)	令和2年度 クロスカントリースキー講習会	滝野公園	有料
R3.1/9.1/16. 1/23.1/30.2/6 (各土曜日)	令和2年度 初めての歩くスキー”滝を見に行こう”	滝野公園 溪流ゾーン	滝野管理センター
1.10(日)	第41回 障害者歩くスキーの集い	滝野公園	中止
1.24(日)	第46回 道民・札幌市民歩くスキーの集い	滝野公園	中止
2.7(日)	第41回 札幌国際スキーマラソン	札幌ドーム周辺	オンラインイベント
2.7(日)	第42回 石狩浜歩くスキー&かんじきウォーキングの集い	石狩浜	石狩市 体育協会
2.11(木祝)	野幌森林公園スノーハイキング	野幌森林公園	
2.13(土)14(日)	第8回 スノーデュアスロン北海道2021	滝野公園	花サイクルクラブ
2.21(日)	2021 道新jr歩くスキー教室in中島公園	中島公園	中止
2.23(火祝)	第37回 滝野公園歩くスキー大会兼第7回 滝野公園クロスカントリースキー記録会	滝野公園	滝野管理センター
3.14(日)	令和2年度 春山スキーハイキング	札幌郊外の山	
5.23(日)	花の見ごろガーデンツアー	滝野すずらん公園	



司会者の説明



参加者・・19名

令和2年度 環境保護講座

協会の理念の一つに「恵まれた自然に親しみ、環境を守り、その破壊を防ぐように技術面でなくスポーツのマナーや自然保護の理念を復旧する」とあります。すなわち温暖異変に伴い降雪が少ないとスキーが出来ない。そのような願いを込めての環境保護講座を実施しています。

1、日時：令和2年12月5日(土)13:00～15:00

2、場所：市民活動プラザ星園2階 会議室

3、参加人員：15名

4、タイトル:テーマ「地球環境を守る為私達ができること」

講師：札幌市環境保全アドバイザー石塚 祐江 氏
(特定非営利活動法人環境り・ふれんず代表理事)

司会：NPO法人北海道歩くスキー協会 名誉理事長 浜島 泉

5、内 容

- 冒頭に近年暖冬異変に伴い降雪が少なくスキー大会が開催出来ない事がありました。地球温暖化対策の必要性が叫ばれ、私達の日常生活を考え直す課題が訴えられました。これを受けて**環境保護講座を平成18年**に開設して研修会または自然観察会を年1回開催しておりますと浜島名誉理事長からお話がありました。
- 石塚先生からは「自己紹介と地球温暖化」、「**ごみ減量リサイクル**」、「**今世界が注目の海ごみ**」、そして最後に「**元気なうちに家を片づけて**」等々スライドを使用して身近な問題で大変分かりやすいお話でした。
- 地球温暖化の原因として大気中の**二酸化炭素の排出濃度**の上昇が指摘され異常気象、洪水や台風等大変なことになり、排出二酸化炭素を削減する必要があります。その為には私達の暮らしで見直しできるものから取り組んで行く必要があります。具体的には「もったいない精神と無駄を省く」、「**〇〇過ぎない例えばエネルギー(電気、ガスなど)**」、「**物を大切にする・我慢するのでなく普通に**」各人が**一人一人意識を持つ事が大切**であるとおっしゃっていました。

●リデュース(廃棄物の発生抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再生利用)の活動を推進するための暮らし方、空家ごみ屋敷、海洋プラスチック問題とレジ袋有料化、食べ物をごみにしないコツ、又子供が成長すると着れなくなる衣類等の整理・処分方法を学びました。

ごみ減量活動での住民交流、地域の助け合い支え合いを進め「ごみニュケーション」で回り回って循環し地球環境を守ります。

「いつまでも楽しく歩くスキー」が出来るように一人一人が環境問題に取り組む事が大切だと思いました。

次回も多数の方の参加をお願い致します。

講師：札幌市環境保全アドバイザー
石塚 祐江 先生



司会：
北海道歩くスキー協会
名誉理事長 浜島 泉先生





石塚 祐江 先生のスライド使用しての講義



**地球温暖化の原因として大気中の二酸化炭素の排出濃度削減等・・・
真剣に聴講する参加者**

あなたの空き家問題チェック！！

[1]現在、「空き家」で困っている？

[2]その「空き家」は誰のもの？

[3]どうして困っていますか？

- ・自分だけで決められない
- ・費用負担の問題
- ・体力が無い、片づけが面倒
- ・遠距離だから
- ・相談するところが無い

[4]処分方法として、どうしたいですか？

- ・解体してさら地にしたい
- ・売りたい
- ・貸したい
- ・その他:

[5]本日のセミナーに参加した理由は？

- ・今、親が住んでいる家の処分のために
- ・今、自分が住んでいる家の処分のために
- ・勉強のために
- ・その他

[6]空き家対策で一番知りたいことは何か？

大きなごみ問題に・・・



元気なうちに・コツコツと、
ごみ分別・リサイクルすると、
環境にもおサイフにも
やさしく、未来の子どもた
ちの負担を減らします。

急に片付けると、負担(労力・費用)がかかります

ごみ減量・片付で、まちづくり 地域コミュニティ

ごみ減量で、住民交流・地域の
助け合い・支え合いを進めて
みてはいかがでしょうか？



ごみニュケーション

ごみ減量リサイクル

「今世界が注目の海ごみ」、そして最後に「元気なうちに家を片づけて」



スライドを使用して身近な問題で大変分かりやすいお話でした。